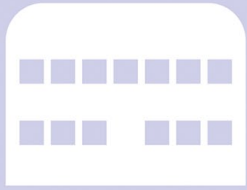


避難先の検討

「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

行政が指定した避難場所
への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等



小・中学校・公民館等

安全な親戚・知人宅
への立退き避難

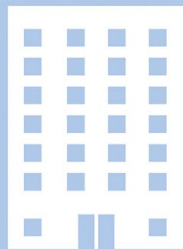
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



親戚・知人宅

普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう



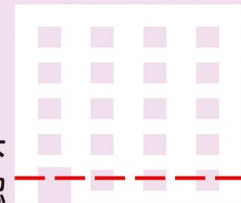
ホテル・旅館

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



想定最大浸水深を確認

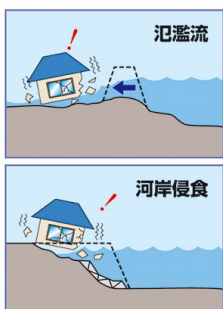
在宅避難

安全なホテル・旅館
への立退き避難

屋内安全確保

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です。

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

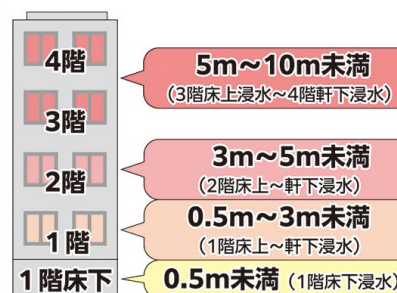


(入っていると…)

流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

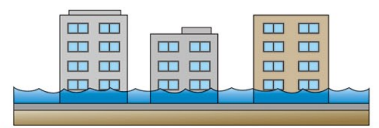
地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

② 浸水深より居室は高い



③ 水がひくまで我慢でき、水食料などの備えが十分 (十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がありませんので、町までお問い合わせください。

マイ・タイムラインを作成